

2006年11月24日

荒川区議会議長 鳥飼秀夫様

保育園給食を考える荒川区民の会

代表者 筑本 知子

保育園給食調理業務の委託実施園拡大の延期に関する陳情

今年4月より保育園の給食業務の民間業者委託がひぐらし保育園と三河島保育園の2園で始まりました。始まってまだ半年もたっていないというのに、来年4月から、新たに2園の給食業務を委託するという区の方針が、9月4日の文教・子育て支援委員会で報告されました。

委託後も問題なく順調に進んでいるという区の評価ですが、一方のひぐらし保育園では、この半年で、副主任2人の他パート数名の入替わりがあるなど、保護者が不安になるような事態もでています。区はたった半年の評価で、来年の委託拡大を打ち出しています。半年の検証で、何がわかったのでしょうか？

「サービス向上を効率的に行うために、民間委託をすすめる」というのが区のキャッチフレーズです。委託開始後も不安を感じる利用者が少なからずいる現状において、「サービス向上」がどの程度か、またどのぐらいの効率化がはかれているのか、問題はないのか等々、時間をかけてきちんとした検証をしながら、本当のサービス向上めざし、利用者が不安を感じないようなシステムを作り上げてほしいと切に願います。

そのためにも、平成19年度の保育園給食調理業務の民間委託実施拡大を延期し、現在既に委託が導入されている保育園及び小・中学校における委託の実態を調査・検証し、その結果を保護者に報告してください。

保護者の願いは、子ども達が安全・安心な環境のもと、心身ともに健全に成長していくことにあります。生活の中で重要な「食」を子ども達にとって、よりよいものにするために上記のことの実現をお願いいたします。

以上